

| 授業科目(ナンバリング) | 経営学 (AD212) | | | 担当教員 | ※安部 雅隆 | | |
|---|--|-----|------|---------|--------------------------|-------|----------------|
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 我々が社会で生きていく上で、企業との関わりは必須です。企業とは一般的に「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」から成り立っており、それらの要素がどのように組合わさって生産活動を営んでいるかを本講義で習得していきます。具体的には、企業が存続していくために必要な事項を理解するとともに、社会で話題になっている経営課題を積極的に講義内で紹介することにより、社会における経済・経営面に関する情報を収集・分析できる能力を養うことを目的としています。そして、最終的には履修者自身が就職した時に、その企業の経営や事業活動に貢献できるような有益な分析視覚を身に付けます。 | | | | | | | ③⑤ ⑨ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 実社会でビジネスを展開する企業の基本的構造が理解できる。また企業経営に有益な様々な経営理論について説明ができる。 | | | | ・授業内テスト ・授業態度・授業への参加度 | 10% | 10% |
| 情報収集、分析力 | 企業情報を示す客観的データから、その企業の特徴、問題点などを類別できる。またそれによりその企業がとっている戦略や今後とるべき戦略を分析・提言できる。 | | | | ・定期試験 ・課題レポート | 40% | 10% |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | 経済事情等の世間の流れと経営との関連性が理解できる。併せて社会に出て働く上で、必要とされるスキルが理解できる。 | | | | ・定期試験 ・課題レポート | 20% | 10% |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>具体的には以下の要領で定期試験およびレポートを実施します。</p> <p>(1) 定期試験 ⇒ 試験期間中に実施。最終的評価の60%を占める。授業で配布する資料のみ持ち込み可能。</p> <p>(2) 授業内テストおよびレポート ⇒ 授業終了前に毎回ポートフォリオを通して理解度を確認する小テストを実施します。また第12回目には小レポートをポートフォリオ内で課します。小テスト・小レポートについては、それらを課した次の時間にフィードバックを実施します。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>自作のスライドを用い講義形式で授業を展開していきます。配布される資料には空欄を設けていますので、講義を聴講しながら埋めるようにして下さい。またリフレクションカードを毎時間授業前に配布しますが、そちらにコメント欄があります。授業の感想や不明瞭な箇所についてコメントおよび質問を記載して下さい。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分です。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：特に指定はしません。毎回配布するプリントを保管して下さい。</p> <p>参考書：「1からの経営学」吉村典久・加護野忠男著 碩学舎 「演習 経営学」亀川雅人著 新世社</p> <p>指定図書：「1からの経営学」吉村典久・加護野忠男著 碩学舎</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>講義に出席することをまず大前提と考えてください。その上で配布した資料には授業終了後などに再度目を通し復習して下さい。また日常のニュースや新聞紙面に気を配り、現代社会で起きている経営に関する問題点を大まかので把握するように努めて下さい。また講義の中で、疑問や質問が浮かんだ際は遠慮せずに尋ねて下さい。</p> <p>最後に授業を受講する姿勢についてですが、授業の進行を妨げる行為は厳禁です。また無許可での途中退室は認めません。万が一そのような学生を見かけたら、その学生は当該授業を欠席扱いとします。</p> | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|-----------------------|--|------------------------|
| 1 | 講義概要解説 | 半期間の講義の流れや評価などについて説明します。 | 経営学の言葉の意味を考えてくる。 |
| 2 | 経営とは何か | 経営学の出発点として経営学の概念を明らかにします。 | 初回に説明した本講義の展開の仕方について復習 |
| 3 | 株式会社① | 現代社会の代表的な企業制度である「株式会社」について、その仕組みと基本的特徴を明確にします。 | 「株」の意味を調べる |
| 4 | 株式会社② | 現代社会の代表的な企業制度である「株式会社」について基本的特徴を捉え、その後具体的企業に焦点を当てながら説明します。 | 特定企業の「時価総額」について調べる |
| 5 | コーポレートガバナンス | 「会社は誰のものか？」という議論を含め、会社運営について解説します。 | 「株式会社」の意味・仕組みについて復習する |
| 6 | 経営計画と経営戦略① | 経営戦略について複数の理論を挙げながら解説します。解説の際、個別企業の経営戦略の事例を挙げながら、複数の戦略論についてその違いを明確にししながら説明します。 | 「経営戦略」の意味を調べる |
| 7 | 経営計画と経営戦略② | | 特定企業の「経営戦略」について調べる |
| 8 | マーケティング | マーケティングの概念をまず説明し、企業におけるマーケティング戦略の意義と役割について明らかにします。 | 「マーケティング」の意味を調べる |
| 9 | 企業の組織行動その① | 企業が自らの目的を効率的に達成できるように作った組織構造について学習します。まず企業組織の構造を解説し、次に実際の企業組織の現状について事例を挙げながら説明を加えます。 | 一般企業における「役職名」について調べる |
| 10 | 企業の組織行動その② | | 一般企業における「部署名」について調べる |
| 11 | 財務情報の活用 | 企業活動の成果は最終的に財務諸表という計算書類に集約されます。それら財務諸表を理解し、その分析方法を修得することを目的に講義を進めます。 | 「簿記」についてその意味を調べる |
| 12 | M&A（企業買収） 授業内レポート | 成長戦略の手段としてのM&A（合併・買収）の解説とM&Aにおける最近の動向を説明します。また授業の最後に、M&Aに関するミニレポートを作成・提出してもらいます。 | レポート準備 |
| 13 | 企業のグローバル化 | 企業の国際化とは何か？どのように国際化は図られていくのかを解説します。 | 世界的に有名な企業の名前を調べる |
| 14 | 現代企業の経営課題と未来の経営環境について | 企業経営に関して、現代的課題をいくつか取り上げ議論します。また、未来の経営がどうなっていくかを考察します。 | これまでの配布資料復習 |
| 15 | まとめ | これまでの講義の復習の意味を含め、経営学の全体像を総括します。 | これまでの配布資料復習 |
| 16 | 定期試験 | 1年間の講義を通して、経営学に関する知識や考え方がどれくらい修得できているかを判断します。 | 試験準備 |